

# YELL エール 第17号

那須教育事務所ふれあい学習課  
〒324-0056 栃木県大田原市中央 1-9-9  
Tel:0287(23)2177 FAX:0287(23)2193  
Mail:nasu-kyouiku@pref.tochigi.lg.jp

Vol.17 平成24年 4月

## 今年度も「エール」を送ります

新しい年度がスタートして、あっという間に4月が終わろうとしています。年度初めの事務や日々の業務に追われ、生涯学習係になったものの「そこまでなかなか手が回りません…」という声が聞こえてきそうです。しかし、生涯学習係や社会教育主事有資格者は学校教育において大変重要な役割を担っています。地域の情報を集め、職員に情報を提供することも、その役割の一つで、この情報が授業の充実につながり、地域・家庭・学校を結び付ける大きな原動力となります。そこで、今年度の「エール」では、「学校と外部団体との連携協力」のために学校で生かせる情報を発信していきたいと思ひます。どうぞお楽しみに。

## 社会福祉協議会と学校の連携①

外部団体との連携協力の第一弾として、社会福祉協議会との連携について考えていきたいと思ひます。総合的な学習の時間や特別活動などで、社会福祉協議会と連携を図り授業を行っている学校も多いかと思ひます。ここではよりよい連携のために、とちぎ版福祉教育ハンドブックの中で「学校における福祉教育の推進」についてコラムを寄せている、那須塩原市社会福祉協議会の大島こずえさんに話を伺いました。

**Q：社会福祉協議会とは、どんな団体ですか？**

**A：社会福祉法の中では、「地域福祉の推進を図ることを目的とする団体」とされています。「福祉教育」というのは、「地域の人と人とのつながりを大切にし、お互い助けたり助けられたりする関係やその仕組みをつくっていくこと」「誰もが安心して普通の暮らしができるような地域社会をつくること」です。つまり、住民が“主体的に”地域の問題を把握し、解決に取り組み、よりよい地域を作っていけるよう、時には一緒に、時には見守りながら支援する社会福祉法に基づき設置された営利を目的としない民間の団体です。略して、「社協」と呼ばれています。**

**Q：現在、社協では、学校の授業においてどんな協力をされていますか？**

**A：社協では、総合的な学習の時間にボランティアについて学びたい、障がい者や支援を要する高齢者との接し方や子どもたちにできることを教えて欲しい、子どもたちに優しい心・助け合いの心を学ばせたいといった学校からの依頼に対して、以下のような内容を提供しています。**

- ・ボランティアに関する講話、障がいに関する講話、講師の紹介
- ・高齢者疑似体験、障がい者疑似体験（アイマスク、車いす）、点字、手話
- ・中高生ボランティアサマースクール
- ・被災地支援活動（H23年度） など

1ヶ月ぐらい前までに申込みをしていただいで、実施という流れになっています。

（申込みに関しては、那須塩原市：「福祉体験ハンドブック」参照、大田原市：「ともに生きる（教師用）」参照、那須町：電話にて相談）

しかし、最近、学校側が進めたい福祉教育と社協側が進めたい福祉教育には、ズレが生じているように感じるんです…。

さて、そのズレとは何なのか。次号では、そこからよりよい連携について考えていきたいと思ひます。

## 今年度も「那須教育事務所 ふれあい学習課」をよろしくお願ひします



氏名：田崎 真  
役職：所長補佐兼ふれあい学習課長  
メッセージ：今年度も、できる限り情報提供に力を入れていきますので、よろしくお願ひします。



氏名：田代 充  
役職：副主幹  
メッセージ：今年度も家庭教育を担当します。ぜひ、親プロを御活用ください。



氏名：和田 淳子  
役職：社会教育主事  
メッセージ：人権教育、文化関係を担当します。今年もよろしくお願ひします。



氏名：浅羽 一裕  
役職：社会教育主事  
メッセージ：生涯スポーツや出前講座を担当します。出前については、お気軽に御相談ください。

